

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 平野商運株式会社 ～



2023年10月2日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、平野商運株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、平野商運株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	平野商運株式会社
所在地	愛知県一宮市明地字新田中切 38-2
従業員	70 名 ※2023 年 8 月末時点
事業内容	一般貨物自動車運送事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

目次

1. 企業情報	3
2. 事業内容	7
①ビジネスモデル	
②事業内容	
③当社の強み	
3. その他の取組	10
①安全への取組	
②ホワイト経営（働きやすい職場認証制度）	
③健康経営	
④地域社会への貢献	
⑤環境への取組	
⑥SDGs宣言	
4. インパクトの特定	14
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	18
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	20
7. モニタリング方法	20
8. 総括	20

1. 企業情報

 **平野商運株式会社**

① 会社概要

会社名	平野商運株式会社
設立年月日	1973年4月10日
代表取締役社長	平野 隆之
本店所在地	愛知県一宮市明地字新田中切 38-2
従業員数	70名 ※2023年8月末時点
決算日	3月31日
資本金	25,500千円
直近売上高	935百万円 (2023年3月期)
営業所	【本社営業所】愛知県津島市大縄町9-2 【あま営業所】愛知県あま市森6丁目31-1



② 沿革

1973（昭和48）年4月	資本金1,000万円で平野運輸株式会社として 愛知県尾西市（現在は市町村合併で一宮市）にて設立 （代表取締役・平野藤四郎）
1979（昭和54）年7月	平野商運株式会社に社名を変更 （代表取締役・平野静夫に変更）
1991（平成3）年7月	資本金を2,550万円に増資
1995（平成7）年9月	本社営業所を愛知県津島市に置く
2002（平成14）年5月	代表取締役・平野隆之に変更
2008（平成20）年12月	本社 安全性優良事業所認定（Gマーク）を受ける
2009（平成21）年4月	本社 グリーン経営事業所の認証を受ける
2011（平成23）年12月	愛知県あま市にあま営業所開設
2015（平成27）年12月	あま営業所 安全優良事業所認定（Gマーク）を受ける
2015（平成27）年12月	あま営業所 グリーン経営事業所の認証を受ける
2018（平成30）年3月	健康経営優良法人認証を受ける
2020（令和2）年10月	SDGs 宣言
2023（令和5）年3月	ESG（サステナビリティレポート）公開

③ 社訓・理念

社訓

和・以・業・成

(和を以って之を業と成す) ”之”こそが、我が社の物流サービスである。

私たちは一人ひとりの力は微力である。一人では何もできないのが現実であります。

しかし、この職場に同じ意識を持ち、集まった者同士が力を合わせることでそれは大きな力へと変化する。

それが”和”であり、その和こそがわが社でしかできない”業”を発揮させるものであると信じます。

● 理念

私たちは物を運ぶことで地域社会並びに世の中に貢献します。

私たちの提供するサービスには、公道の使用、そして少なからず排出ガスを出すトラックを用います。

公道の使用には法令の遵守、排ガスにはその影響を最小限に食い止める削減策の提起とその取組みが不可欠です。

"安全"はすべてにおいて最優先される事項である。意識・行動・言動はこの"安全"を大前提とする。

社員は常に向上心を持ち、自分自身、家族を大切にする。

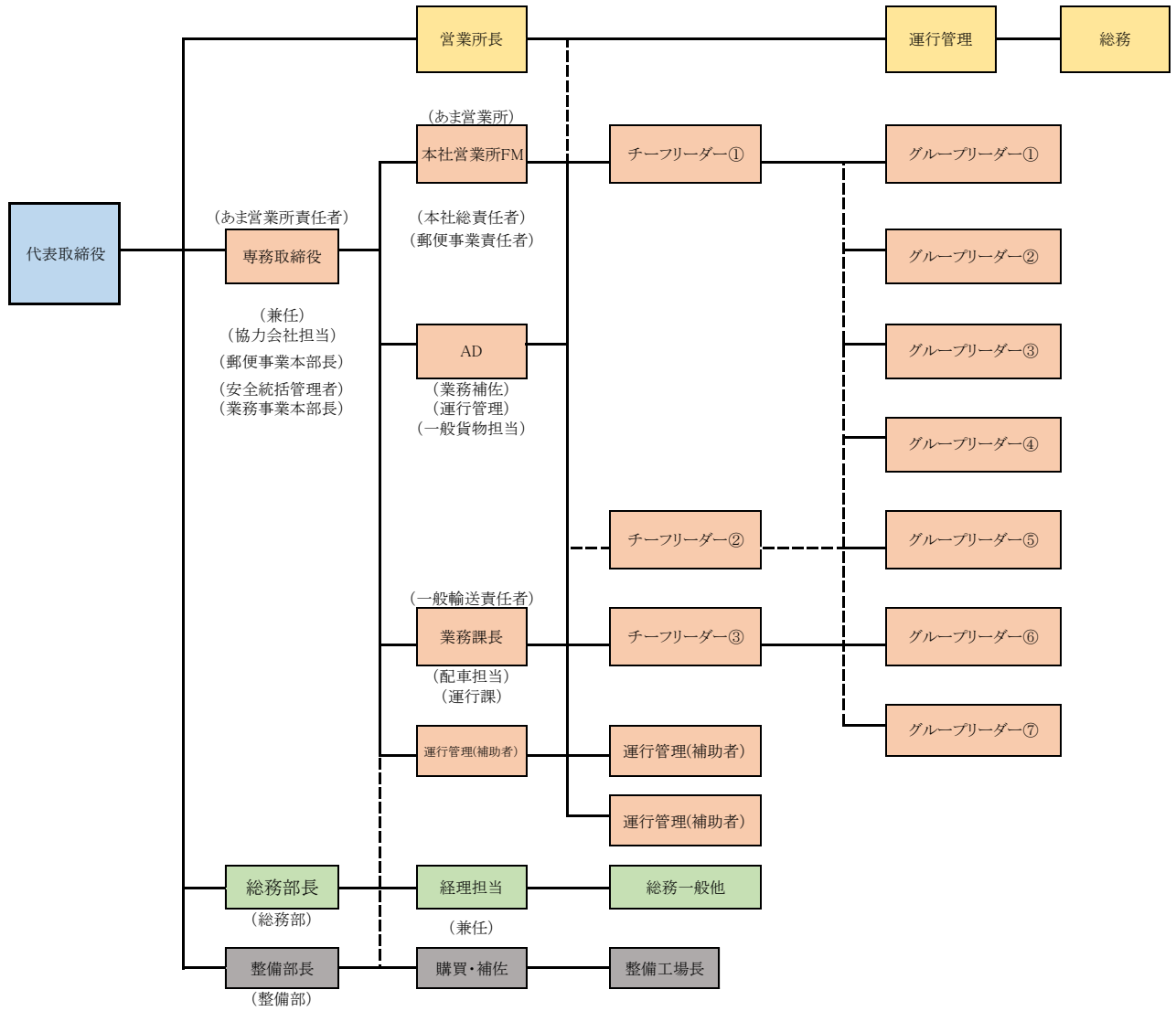
燃油価格の高騰や 2024 年問題、慢性的な人手不足等、運送業を取り巻く環境は、日毎厳しさを増している中で、プロの職業運転手の社会的地位の向上、諸待遇改善、働き方改革を成功させるには、プロ意識を高め、顧客に求められる企業であり続ける必要がある。

そのために当社が最も重要視していることは「輸送品質の向上」であり、具体的要素として「①時間を守る」「②約束を守る」「③法令遵守」の三つを挙げている。

この三つの要素を企業としてしっかりと把握・管理し、従業員が「和を以って」続けていくことで、ミスやエラー、事故やトラブルのない安全なサービス提供に努めていく。



④ 組織図



2. 事業内容

① ビジネスモデル



一般貨物自動車運送事業に従事する当社は、「和・以・業・成（和を以って之を業と成す）、「之」こそが、我が社の物流サービスである」との社訓を事業の土台の考え方としている。理念である「安全はすべてにおいて最優先される事項、意識・行動・言動はこの安全を大前提とする」を精神的な行動基準として事業を展開しており、これからの時代の企業経営は、いかに社会的価値を創造することが出来るかが重要であると考えている。

「ドライバーにとって働きやすい職場提供」、「環境負荷の低減」、「安心安全な物流への貢献」という社会的価値を提供するサステナビリティ経営を実践することにより、今後とも社会課題、環境課題にしっかりと向き合いながら、持続可能な社会の実現に向けて企業価値を高めていく方針である。

② 事業内容

(1) 全国各地向け貸切便輸送



中部圏を中心に関東地区一円、東北地方、関西、九州方面まで長距離輸送を中心に全国を駆け巡っている。

顧客から預った大切な商品を、最新の環境配慮車両で安全第一でスピーディに届けられるよう努めている。

(2) 特別積み合せ便



会社創立以来、多くの荷主企業の荷物をまとめて積載することで低コスト輸送を行う路線便にも対応してきた。

あらゆる荷物の扱いに精通した職人ドライバーにより安定した業務が為されている。

(3) 郵便輸送



昭和の時代から郵便輸送に携わっており、この地区では最も古くから取引している企業の一つである。

この世に一通しか無い大切な手紙を運ぶという業務に、責任と誇りを持ったドライバーたちが 365 日 24 時間止まることなく走り続けている。

(4) 一般貨物自動車利用業



長い業歴の中で培ってきたネットワークを駆使して、全国に広がる提携業者と協力することで、より効率的かつスピーディに無駄のない運行を実現している。

③ 当社の強み



● 有利な立地条件

弥富 I C にほど近く、愛知県の陸上交通の要衝である地において、迅速、確実な配送手配により、タイムロスなく輸送・配送を行うことができる。中部圏を中心に関東圏、関西圏をカバーしており、一般雑貨、建築資材、自動車部品、日用品等、ありとあらゆる商品の輸送に対応している。

● 歴史ある企業

企業の個性、確固たる経営理念を基盤とし、時代の変化に合わせてられる臨機応変さも兼ね備えながら、高品質なサービスを長期間提供し続けてきた。影響力が大きく、細やかな対応が必要とされる郵便輸送を 30 年以上続けてきたという実績は、当社が高い信頼を得てきたことを表している。

● 自社整備工場完備

自社内でトラックを整備するための設備を完備しており、整備歴 40 年、ベテラン整備士も在籍している。法定点検のみならず、板金・塗装・電気関係等、トラックを知り尽くした工場長が安心して運行できるようきっちりとした整備を行っていることに加え、急な車両トラブルにも即時対応することが可能である。

④ 車両紹介



【4 トン車】



【大型車 (ウイング車)】



【トレーラー】

- ・ 4 トン車 **11 台** : 郵便輸送と通販関連輸送がメイン。関東地区向け定期運行も行う。
- ・ 大型車 (ウイング車) **42 台** : 当社の主力車両。全車エアサス車両で高品質輸送を提供する。
- ・ 冷凍・冷蔵車 **6 台** : 近隣における宅急便受注に対応。
- ・ トレーラー **7 台** : 顧客ニーズに対応すべく、大量輸送に貢献している。

3. その他の取組

① 安全への取組



当社において、「安全」はすべてにおいて最優先される事項であり、意識・行動・言動はこの「安全」を大前提として考えられている。輸送の安全に関する下記方針を制定し、全社員で“安全”の徹底が為されるように、毎月全ドライバーに対して安全勉強会を開催するとともに、人事評価項目としても設定し、高い意識を維持し続けている。

1. 安全運行は全ての業務に優先する
2. 交通ルールの厳守の徹底
3. 無事故無違反で安全運転
4. 輸送の安全は我社の根幹
5. 安全運行はプロドライバーの社会的使命

他にも、全車両へドライブレコーダー、バックアイカメラを設置しており、この取組により事故の証拠を残せるだけでなく、映像を参考にした再発防止の対策や、窃盗などのトラブル抑止に繋げている。

これらの活動の積み重ねにより、2008年より継続して「安全性優良事業所」の証である「Gマーク認証」を取得している。Gマーク認証は、全日本トラック協会の適正化機関が「交通安全への取り組み」などの安全面を厳格に評価し、一定の基準をクリアした事業所を認定する制度であり、2020年7月には、Gマークの継続取得と社会貢献の功績が評価され、中部運輸局より表彰も受けている。

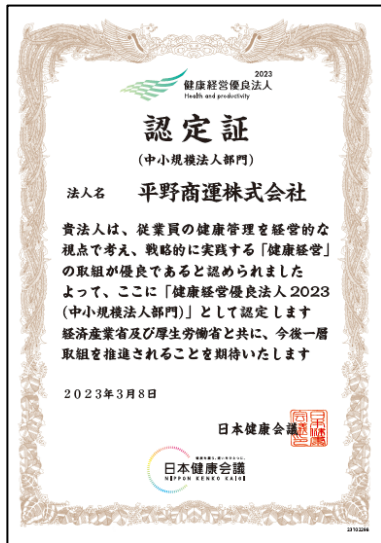
② ホワイト経営（働きやすい職場認証制度）



当社は、法令を上回る労働条件や労働環境改善に向けた取り組みを相当程度実施しているとして、2023年に「ホワイト経営」の二つ星の認証を受けている。この制度は、国土交通省が2020年8月に、自動車運送事業の運転者不足に対応するための総合的取組みの一環として創設されたものである。

一人ひとりのワークライフバランスに応じた柔軟な働き方を実現するために、フレックスタイムや制度休暇、家族手当等の設定、ダイバーシティの取組等の施策が高く評価された結果だと言える。

③ 健康経営



運送業界で取得した企業はほとんどない中で、2018年より「健康経営優良法人」の認定を受けている。

当社にとって社員は最大の財産であり、働きやすい職場環境の整備と、社員の身体的健康、精神的健康、社会的健康の保持増進は経営の最重要課題と捉えており、今後とも積極的従業員の健康を守るための企業運営を行っていく方針である。

④ 地域社会への貢献



当社は「津島の魅力を全国にPR発信」する事を目的に、2017年2月から津島市とコラボし、「尾張津島天王祭」、「尾張津島藤まつり」を左右側面に、後面には市制施行70周年を迎える津島市のロゴマークがあしらわれたラッピングトラックによる運送を行っている。

「津島市」という地域に興味を持つ人を増やし、地元活性化に貢献できるよう当社の事業特性を生かした社会的価値のある取組みと言える。

⑤ 環境への取組



【低排出ガス車】



【ミシュランタイヤ】



【エコドライブ研修】

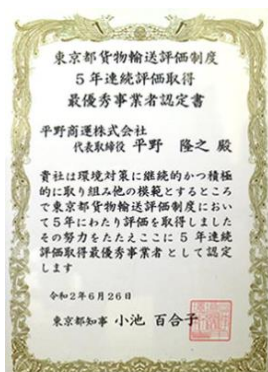
当社は、深刻化する大気汚染、地球温暖化を防止するため、環境保全活動を推進することが企業の社会的責任の一つと認識し、輸送サービスの提供という事業活動から生ずる環境負荷を低減するために、下記環境方針を掲げている。

1. 法規制を遵守し、環境保全に努めます。
2. エコドライブ等、省エネルギー運動を推進します。
3. 環境保全に関する教育、啓蒙活動を実現します。
4. 廃棄物の適正処理、リサイクルを推進します。
5. 安全運行はプロドライバーの社会的使命

具体的取り組みとしては、①低排出ガス車として認定を受けたトラックの使用や、②省燃費かつ排出ガス後処理装置の負荷軽減し環境にも優しいエンジンオイル「ディーゼルグランド DX 0W-30」の使用、③全車両に耐摩耗性に優れ、交換までの時期が非常に長いミシュラン製タイヤ導入による廃棄物の削減を実施している。

加えて、日時で管理・把握している全車両の燃費の推移の見える化や、環境関連法規制に関する研修の定期開催を通して、全ドライバーがエコドライブについて意識を高く持つ文化が醸成されている。

上記のような積極的かつ実効性のある取組は、①貨物運送事業者のエコドライブ等の日常的な努力を実走行燃費で評価する制度である「東京都貨物輸送評価制度」2つ星の5年連続受賞や、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団による「グリーン経営認証永年表彰」「エコドライブ活動コンクール優良認定」といった評価を得ている。



⑥ SDG s 宣言



平野商運株式会社 SDG s 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDG s）」に賛同し、
SDG s の達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2020年10月13日
平野商運株式会社 代表取締役 平野 隆之

✿ — SDGs の達成に向けた取組み — ✿

環境保全活動

エコドライブの徹底を通じ、深刻化する大気汚染、地球温暖化を防止し、環境負荷の低減を目指してまいります。
《具体的な取組み：エコドライブ活動コンクール優良賞受賞
グリーン経営認証認定》



人権・雇用

一人ひとりの人権、人格を尊重し、社員が働きやすく、十分に能力を発揮できる職場環境づくりを行ってまいります。
《具体的な取組み：就業規則にハラスメントの禁止明文化
働き方改革の取組み→A I C H I W I S H企業認定》



健康経営

全社員の健康の維持向上を目指し、積極的な健康経営の推進をしてまいります。
《具体的な取組み：健康経営優良法人》



地域社会への貢献活動

地元のイベントの宣伝活動や寄付等により、地域社会の発展に貢献してまいります。
《具体的な取組み：東山動植物園への寄付活動
地元をPRするラッピングトラック採用》






×





当社は貨物運送業に従事する中で、環境保全活動や健康で働きやすい職場環境の整備、地域社会への貢献についての取組みを宣言している。今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDG s 宣言と共通した分野でのKPIを設定する。

4. インパクトの特定

① インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により平野商運株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。平野商運株式会社の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。平野商運株式会社の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については平野商運株式会社が直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に平野商運株式会社の事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

② インパクト分布図

インパクトカテゴリ	同社の事業				川下の事業											
	【 4923 】		【 5224 】		【 1622 】		【 2220 】		【 2511 】		【 2930 】		【 5310 】		【 5320 】	
	道路貨物運送業		貨物運送取扱業		建築用木材及び建具製造業		プラスチック製品製造業		構造用金属製品製造業		自動車部品及び付属品製造業		郵便業		急送宅配業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）																
食料																
住居					★											
健康・衛生		★★							★				★★			
教育																
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー																
移動手段	★											★	★			
情報														★		★
文化・伝統																
人格と人の安全保障													★			
正義																
強固な制度・平和・安定																
水（質）						★		★★		★		★				
大気		★★				★		★		★		★		★		★
土壌		★★						★★				★				
生物多様性と生態系サービス		★★										★				
資源効率・安全性		★★				★		★		★		★★				
気候		★★				★		★		★		★★		★		★
廃棄物		★		★		★		★★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★		★		★		★	
経済収束												★				

● 同社事業

現状では主に郵便、宅配便、建築資材・部材、自動車関連部品の4分野における一般貨物輸送に従事する当社のインパクトカテゴリは上記の通りであった。

まず同社事業におけるポジティブインパクト（P I）としては『雇用』『移動手段』『包括的で健全な経済』について確認できる。各種安全への取組やホワイト経営・健康経営といった認証の取得等に見られるような、労働環境を常に改善していこうと考える企業文化は『雇用』のP I拡大に貢献しており、50年という長い業歴の中で培ってきた「安全・安心に輸送する」というノウハウを駆使して、あらゆる分野で物流サービスを提供し続けている実績は『移動手段』『包括的で健全な経済』のP I拡大に貢献している。

一方で、ネガティブインパクト（N I）としては『健康・衛生』『雇用』『大気』『土壌』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』が確認された。

『雇用』におけるN Iに対しては、法令・交通運転に関する勉強会の毎月開催や、離職率低減につながるような働きやすい職場づくりを通して縮小を図っていく。

環境面におけるN Iについては、輸送事業を行う際に排出される有害物質が主な要因と考えられるが、当社としては低排出ガスの活用や、環境に優しいエンジンオイルの利用、耐摩耗性に優れたタイヤの導入等、主に『気候』『廃棄物』のN I縮小となる施策をこれまでも積極的に実施しており、今後とも可能な限り環境負荷低減に取り組み、対策を進めていく方針である。

●川下事業

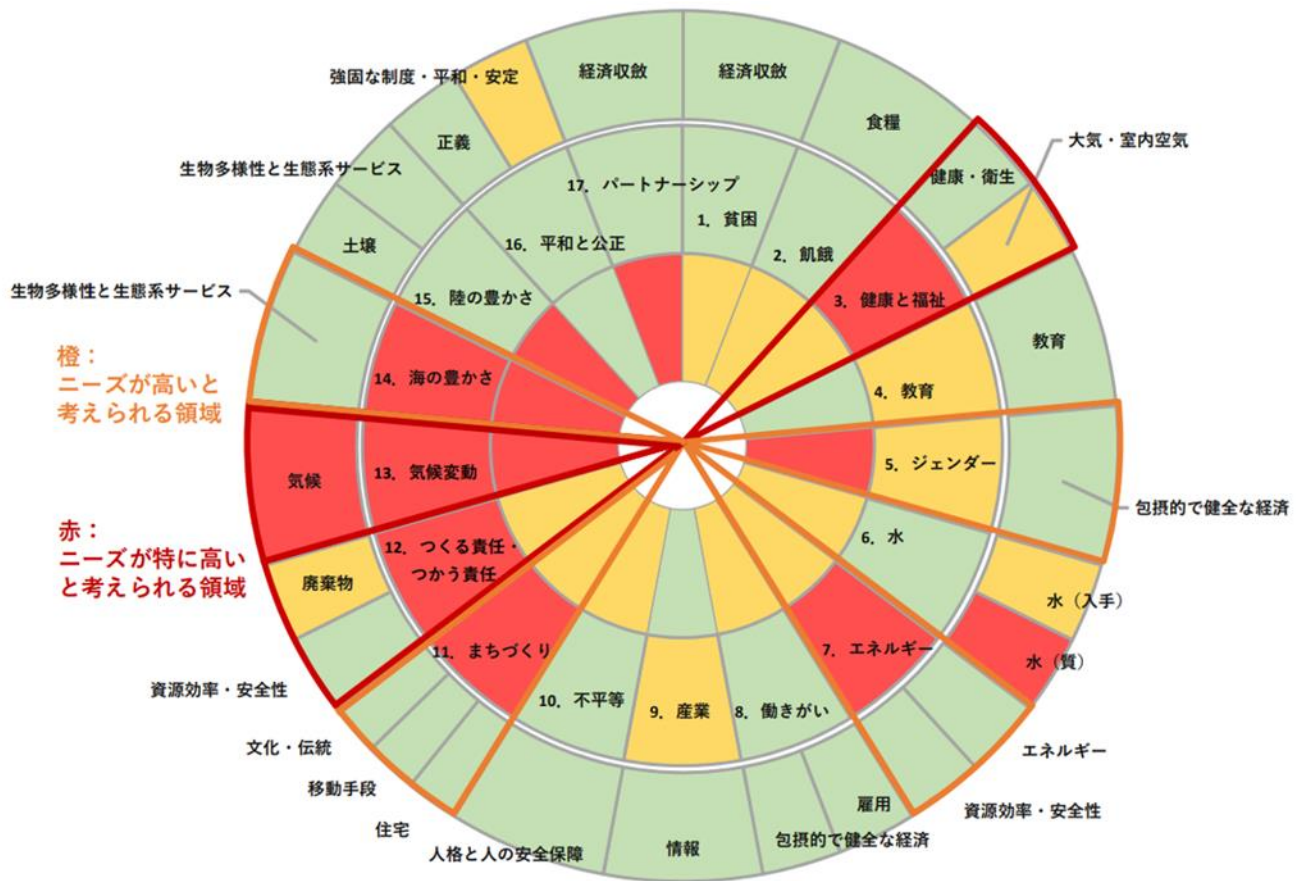
川下事業におけるP Iとしては『雇用』『移動手段』『情報』『包括的で健全な経済』『経済収束』が確認された。当社が安全で信頼できる輸送を続けていくことは、郵便業・急送宅配業で見られる『情報』（手紙の配送などで見られるコミュニケーションへの貢献）のP I拡大、自動車産業のサプライチェーンへの寄与は『移動手段』のP I拡大、そして幅広い物流サービスの提供が『包括的で健全な経済』のP I拡大を促進させている。

一方、N Iとしては『健康・衛生』『雇用』『移動手段』『人格と人の安全保障』『水（質）』『大気』『土壌』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』が確認された。製造・輸送過程で排出される有害物質・廃棄物が影響によるものと考えられるが、現状では当社努力により直接の緩和が難しい領域である。

③ 国内のインパクトニーズ


環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

次ページの「5. 測定する KPI」において名古屋銀行が特定した平野商運株式会社のインパクトと対応する SDGs のゴール「5、9、13」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



5. 測定するKPI


① 事業拡大と働きやすさの両立

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大、社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「情報」「移動手段」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる要望に柔軟に対応できるよう社内連携の強化と適正な人員配置実現 システムの活用等による適切な運行管理を行い効率化を進め、労働時間を増やすことのない事業の拡大
KPI	・2028年度までに売上高 1,000 百万円を達成する

② 安全で平等な働きやすい職場

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全な職場環境の維持、女性雇用の促進、働きやすい職場づくり
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 安全性優良事業所認定（Gマーク）の継続認定 法令、交通安全に関する勉強会の毎月開催の継続 2028年度までに女性従業員を3名増員する ドライバーの3年以内離職率を、現状の10%から毎年低減させ続ける

③ 地元への貢献

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	
対応方針	ラッピングトラックを活用した地元PR活動を促進させる
KPI	2025年度までにラッピングトラックを1台増車する

④ カーボンニュートラルへの取組

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」
関連するSDGs	
対応方針	低排出ガス車や環境に優しいエンジンオイルの積極的な使用、エコドライブの啓発
KPI	2028年度までにCO2排出量を2023年度比15%削減する

6. インパクトの管理体制

平野商運株式会社は代表者を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、代表者が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 平野 隆之
-------	-------------

7. モニタリング方法

平野商運株式会社に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

平野商運株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。平野商運株式会社が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。